

児童朝会 校長の話 6月6日

土曜日は浅草っ子スポーツ day でした。みんなで力を合わせて競技や演技が盛り上がり楽しかったですね。実行委員の人たちがてきぱきと上手に進行し、素晴らしかったです。6学年が12時までには終わらせるために、1学年30分ずつだったのですが、どの学年もみんなしっかり守って、6年生が全部終わったときに時計を見たら、12時ぴったりに30秒前くらいでした。みんなの力で成功させましたね。よい思い出を作ることができました。

さて明日は全校遠足です。みんなで上野公園に行きます。皆さんにとって上野公園は近くで当たり前にある公園ですが、とても素晴らしい公園です。

明治9年、日本で初めてできた公園です。本当は上野の山に陸軍の病院や学校、墓地などを作る計画がありました。それを知ったオランダの軍医のボードワン博士が、上野の素晴らしい自然を残し、ここは公園にするべきだと主張して頑張りました。そのお陰で上野の山はその素晴らしい自然の残したまま公園になりました。全校遠足のしおりの地図



にも載っている通り、噴水の近くにボードワン博士の銅像があります。



そして、スタートやゴールになる本部には野口英世像があります。国立科学博物館の前です。右手には試験管を持っています。野口英世はお医者さんで伝染病の研究をしました。アメリカにも渡って研究し、その後アフリカに渡って黄熱病という伝染病の研究をしました。伝染病を予防したり治療したりするために研究を重ねましたが、最後は自分も黄熱病にかかって

て亡くなってしまいました。伝染病の研究に一生を捧げ、アフリカの医療に貢献しました。

今でも「野口英世アフリカ賞」という賞があり、アフリカで医療に貢献した人に贈られてい

ます。

上野公園の南の端に西郷隆盛像がありますが、そこに向かって皆さんが歩く道は桜並木になっています。春には満開の桜が美しく、全国から花見に人が集まってきました。昭和の時代の戦争で東京は空



襲を受け上野の町も焼け野原になってしまいました。町は破壊され、家を失った人たちが集まってきて上野の周辺は荒れ果ててしまったそうです。そこでなんとか美しい公園を取り戻したいと、町の人たちが協力して1250本の桜の苗木を植えたそうです。そのお陰で公園は今も桜の名所になっています。

そして最後に西郷隆盛像です。西郷隆盛は江戸時代から明治時代にかけて、武士の世の中から新しい社会を作るために力を尽くした人です。がっちりした銅像が立っていますが、大正時代の関東大震災という大地震で、東京の町はほとんどの建物が崩れてしまいました。しかし西郷隆盛像はびくともせず、そのまま残っていたそうです。ですから「尋ね人」といって、人を捜したり、自分はこ



こにいますよと伝えたりする張り紙が、西郷さんの銅像にいっぱい貼り付けられていたそうです。

明日は午前中、雨が上がって陽も射す予報になっています。誰かがてるてる坊主を作って玄関にぶら下げましたね。天気になって欲しいですね。なかよし班で行動しますから、6年生はリーダーとしてよろしくお願いします。